



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 ビズメイツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9345 URL <https://www.bizmates.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 伸明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートデザイン (氏名) 木村 健 TEL 03 (3526) 2640
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,494	—	120	—	99	—	61	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 74百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	41.25	39.61
2022年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2022年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の数値及び2023年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2023年3月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年12月期第2四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,918	1,372	71.5
2022年12月期	1,338	699	52.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,371百万円 2022年12月期 698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,135	10.5	322	△6.3	295	△10.2	181	△19.5	118.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	1,580,000株	2022年12月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	一株	2022年12月期	120,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	1,483,867株	2022年12月期2Q	一株

(注) 当社は、2022年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

当社の第2四半期決算補足説明資料につきましては、2023年8月14日（月）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるモノやカネの流れの停滞を起因として各国で物価上昇が進むなか、各国政府による金融引き締め政策による景気の冷え込みが懸念されております。

我が国経済におきましては、他国と異なる金融政策の継続等の影響により、為替が円安基調で推移し、エネルギー価格や物価上昇に歯止めがかからない状況となっております。

当社グループの主要事業であるオンライン語学学習市場は、新型コロナウイルス感染症の影響による特需は落ち着きを見せているものの、リスキリング等の職業能力開発への関心は高まっており、引き続き堅調に推移しております。

このような経済環境の中、当社グループのオンライン英会話を柱とするランゲージソリューション事業は、ビジネス英会話と親和性の高い法人向けサービスが成長を牽引しつつ、安定収益であるサブスクリプション型売上也も着実に推移しております。また、グローバルIT人材の採用・転職支援等を行うタレントソリューション事業との補完関係の強化を行い全社的な事業拡大を推進しております。

以上の結果、売上高は1,494,459千円、営業利益は120,994千円、経常利益は99,179千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,213千円となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

① ランゲージソリューション事業

一般家庭の高速通信環境整備の普及やオンライン語学学習の認知拡大により、市場のニーズは高まっており、売上高は1,443,693千円、セグメント利益は477,894千円となりました。

② タレントソリューション事業

昨今のIT人材不足を背景にIT・デジタル人材を採用する企業の動きは活発ですが、当事業は、現状は先行投資期間と捉えており、売上高は50,766千円、セグメント損失は92,029千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,918,607千円となり、前連結会計年度末に比べ580,497千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は546,422千円となり、前連結会計年度末に比べ92,478千円減少いたしました。これは主に未払金や長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,372,184千円となり、前連結会計年度末に比べ672,975千円増加いたしました。これは主に株式上場に伴う公募増資により資本金や資本剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前連結会計年度末より529,317千円増加し、1,420,122千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は32,231千円となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益98,824千円、減価償却費25,680千円の計上があった一方で、減少要因として未払金の減少40,312千円、法人税等の支払額44,515千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は58,059千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,780千円、無形固定資産の取得による支出45,278千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は545,102千円となりました。これは主に株式の発行による収入239,200千円、自己株式の処分による収入358,800千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想については、最近の動向及び今後の見通し等を勘案し、2023年3月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	875,889	1,407,349
売掛金	31,682	46,814
その他	93,068	98,892
流動資産合計	1,000,640	1,553,056
固定資産		
有形固定資産		
建物	74,699	76,845
減価償却累計額	△26,231	△31,331
建物(純額)	48,468	45,513
工具、器具及び備品	88,063	99,059
減価償却累計額	△62,676	△73,142
工具、器具及び備品(純額)	25,386	25,916
有形固定資産合計	73,854	71,430
無形固定資産		
ソフトウェア	85,397	119,886
ソフトウェア仮勘定	58,402	55,154
無形固定資産合計	143,800	175,040
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,577	37,004
敷金及び保証金	82,522	82,075
その他	713	—
投資その他の資産合計	119,813	119,079
固定資産合計	337,468	365,550
資産合計	1,338,109	1,918,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,855	12,678
未払金	236,573	197,911
1年内返済予定の長期借入金	64,440	53,332
未払法人税等	41,326	41,192
未払消費税等	42,651	29,185
契約負債	178,905	183,782
その他	9,758	8,480
流動負債合計	594,510	526,564
固定負債		
長期借入金	35,281	8,615
退職給付に係る負債	9,108	11,242
固定負債合計	44,389	19,857
負債合計	638,900	546,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	124,600
資本剰余金	3	474,403
利益剰余金	685,313	746,527
自己株式	△4,000	—
株主資本合計	686,317	1,345,531
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,770	25,530
その他の包括利益累計額合計	11,770	25,530
新株予約権	1,111	1,111
非支配株主持分	9	11
純資産合計	699,209	1,372,184
負債純資産合計	1,338,109	1,918,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,494,459
売上原価	378,362
売上総利益	1,116,097
販売費及び一般管理費	995,102
営業利益	120,994
営業外収益	
受取利息	21
中途解約収入	31
雑収入	152
営業外収益合計	204
営業外費用	
支払利息	201
為替差損	8,639
上場関連費用	13,123
その他	55
営業外費用合計	22,019
経常利益	99,179
特別損失	
固定資産除却損	355
特別損失合計	355
税金等調整前四半期純利益	98,824
法人税、住民税及び事業税	37,890
法人税等調整額	△280
法人税等合計	37,609
四半期純利益	61,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,213

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	61,214
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	13,761
その他の包括利益合計	13,761
四半期包括利益	74,975
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	74,973
非支配株主に係る四半期包括利益	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	98,824
減価償却費	25,680
敷金償却	783
固定資産除却損	355
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,229
受取利息	△21
支払利息	201
上場関連費用	13,123
売上債権の増減額(△は増加)	△15,131
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,504
前払費用の増減額(△は増加)	△2,379
未払金の増減額(△は減少)	△40,312
未払費用の増減額(△は減少)	4,852
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,465
契約負債の増減額(△は減少)	4,877
その他	7,814
小計	76,927
利息の受取額	21
利息の支払額	△201
法人税等の支払額	△44,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,780
無形固定資産の取得による支出	△45,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△37,774
上場関連費用の支払額	△15,123
株式の発行による収入	239,200
自己株式の処分による収入	358,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	545,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	529,317
現金及び現金同等物の期首残高	890,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,420,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年3月30日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年3月29日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式80,000株の発行及び自己株式120,000株の処分により、資本金が119,600千円、資本剰余金が474,400千円増加し、自己株式が4,000千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が124,600千円、資本剰余金が474,403千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランゲージ ソリューション 事業	タレント ソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,443,693	50,766	1,494,459	—	1,494,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,443,693	50,766	1,494,459	—	1,494,459
セグメント利益又は損失 (△)	477,894	△92,029	385,864	△264,870	120,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,870千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。